

第3回竹の台地域ケア会議 議事メモ

- 1.開催日時 平成25年3月27日(水) 13時30分～15時30分
- 2.開催場所 竹の台地域福祉センター2階集会室
- 3.出席者(30名:敬称略)
 - ・西神中央あんしんすこやかセンター馬場氏他3名、ユイックス西神中央柳本
 - ・西神若竹クラブ、恵友会、悠遊会(以上老人クラブ)から11名
 - ・2丁目自治会他自治会・管理組合から8名
 - ・竹の台地域委員会箕・森川・三島・柳瀬・山本(満)・山本(規)・絹川(傍聴)行政書士事務所から1名
(欠席)西区健康福祉部健康福祉課川崎係長、団栗係長、同まちづくり課岩瀬係長、西区社会福祉協議会藤田

4.議事概要(司会:絹川)

竹の台地域委員会箕委員長によるお礼の挨拶に続き、竹の台地域委員会から資料に基づき、先進地における高齢者ケアの12事例の紹介を行い、竹の台での応用について提起し、その後種々意見交換した。

5.議事内容

(絹川) 資料により「介護予防・健康づくりに関する各地の先進事例と竹の台への応用案」について提起。

<主な提起は下記のとおり>

- (1)高齢者ケアの先進地においても、特定高齢者の把握を重要視している。竹の台では行政と協力して特定高齢者の把握に自治会等を活用できないか。
- (2)先進地では、様々な高齢者対象の食事会やレクリエーションが催されている。竹の台でも定期的に給食会を開催し催事も行っている。しかし、竹のパーク・スタッフだけでは限界があり、NPO法人格を取得して、神戸市の「生きがい対応型デイサービス事業」を受託して体系的に行う必要があるのではないか。
- (3)地域住民の中から健康づくりや介護予防のサポートができる人材を育成すべきではないか。防災には防災リーダー養成講座があり、救急インストラクター養成講座がある反面、高齢者の健康づくりや介護予防を地域でリードする人材の養成ができていないのではないか。
- (4)一人の高齢者の健康状況を疾患も含め、栄養改善や運動、口腔等も網羅したカルテ的なものができるのか。
- (5)あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)は、特定高齢者施策や一般高齢者施策の評価をしているのか。

(6)三木市の健康体操のように神戸市流、竹の台流の健康体操が開発できないものか。健康体操に集うことで引きこもり高齢者の参加も容易になるし、それをキックに健康づくりや介護予防の指導もし易くなる

(6)ふれまち助成に介護予防への取り組みへの助成制度がない。また、住民に一般的な介護予防に関するリーフレットが配布されていない。

(7)学校施設開放運営委員会は、生涯学習が活動のテーマであり、教育委員会生涯学習課も柏原市と同じように介護予防事業に関わるべきではないか。

(8)神戸市内、西区内で高齢者福祉活動を行っているNPOやボランティア団体との連携が必要と思う。

(9)ふれあいまつりへの参画で関係の深い神戸市看護大学とタイアップして、高齢者の血圧測定、学生による健康ミニ講座、脳力トレーニング、簡単な運動指導等が行えないものか。

(10)NPO 法人の設立により、65 歳以上の元気な高齢者を対象に有償の介護サポーターを育成する。

(11)ボランティア預金のように、ボランティアをした時間を預託し本人や家族が介護が必要になった場合に、その預金(介護サービス受給)が引き出せるような制度が必要ではないか。

(12)自宅でも健康づくりや介護予防に取り組んだ実績を記入できる介護予防ファイルの作成は竹の台でも必要はないか。

(13)老人クラブを対象に、神戸市の出前トークを利用した介護予防、健康づくりに関する出前講座の利用を働き掛け、関心を持ってもらう必要があるのはいいか。

(14)改めて、竹の台でも竹の台総合新聞への掲載や自治会回覧を利用して高齢者の健康づくりや介護予防の啓発が必要と思った。

(15)民生委員、ふれあい訪問活動との連携が必須。現状では、竹の台地域委員会と竹の台民生委員児童委員協議会が全く別々の活動をしている。両者の協働が必須。

5. 続いて、出席者間で意見交換を行った。

(自治会等) 地域委員会の資料では、竹の台小学校区の特定高齢者の数は 100 人程度となっているが、行政は、どのようにして特定高齢者を把握しているのか。

(西神中央あんすこセンター) 66 歳以上の方を対象に、神戸市から別添の基本チェックリストを送っている。送付は 66 歳以上の高齢者の年齢が偶数年になった年に送っている。その回答を待って、あんすこセンターから該当者に連絡している。

(自治会等) チェックリストとはどんなものか。

(ユイックス)基本チェックリストは25項目あり、運動機能、栄養状態、口腔機能などを「はい」、「いいえ」で聞いて、基準の数値を下回って回答があれば、あんすこセンターが該当者に電話している。

(自治会等) その回答率はどうか。

(西神中央あんすこセンター) 数値の持ち合わせはないが残念ながら非常に低い。竹の台では毎年数件に止まっている。

(筧:地域委員会) 地域委員会会長ではなく、一高齢者として意見を言わせてもらおうと、私も80歳を超えたので、このチェックリストが神戸市から送られてくるが、リストの25項目のそれぞれが高齢者の現況を反映しているようには思えない。66歳の人にチェックリストにある「バスや電車で一人で外出していますか」と聞かれても当然「いいえ」となるし、チェックリストを返信しようとも思わないのではないかと。

(西神中央あんすこセンター)基本チェックリストは、比較的の若い高齢者より、やはり80歳代を対象にしたものと思われる。例えば、項目にあるBMI(体重×体重÷身長)等は、高齢者だけでなく一般成人にも関心を持って欲しい項目だ。

(自治会等)あんすこセンターから対象者に電話した反応はどんなものか。

(西神中央あんすこセンター)顔も分からず、初めて電話をするので正直言って、まず不審がられる。充分説明して納得してもらおうとそれぞれの状況にふさわしい健康づくりメニューを提供する。春日台のスポーツ教室は好評で、今では「待ち」の状況が続いている。

(地域委員会役員)高齢者と言っても65歳から90歳代まで幅が広く、一定のメニューだけでは、特定高齢者の健康づくりや介護予防は難しいと思う。

(司会:絹川)前回の話で、行政の用意したメニューには不服で、「もっと自分好みのメニューが欲しい」と言う高齢者が多いと聞いた。確かに、皆が満足するメニューは用意できないだろう。それなら有料のスポーツ教室に行ってくれということになる。

ところで、先進地では地域住民の中で介護予防のサポーターのような人材を育てているが、神戸市ではどうか。

(西神中央あんすこセンター)行政施策なのでコメントが難しいが、そういう制度はないと思う。介護予防のためのキャラバンメイト制度はある。

(司会:絹川)高齢者のケア施設がどんなものか住民に見てもらおうと考えているが、

ユイックス西神中央の見学は可能か。

(ユイックス)グループホームは、高齢者の生活空間なのでプライバシーの問題があるが、少人数ずつだと見学は可能。

(司会:絹川)先進地の例では、老人クラブを対象に各種健康づくりや介護予防の

講座や講習が開かれているが、竹の台の老人クラブでも実施しているのか。

(老人クラブ) 今まで実施したことはない。

(司会:絹川)神戸市には「出前トーク」の制度があり、これを使う手があるが、一度開催を検討してもらえないか。

(老人クラブ)中身を教えてもらえれば、前向きに検討したい。

(自治会等)始めて参加したので議論がよく理解できないが、これだけの事をやるのなら、多額の費用がかかる。自治会にも分担を求められるのか。また、NPO法人を設立するとあるが、それにも資金が必要だ。

(司会:絹川)事前に充分説明せずに申し訳ない。このケア会議は、今年から始めたもので、今年は現状把握の段階。いますぐ活動を始めるといった段階ではない。ただ、

高齢者福祉については、現状では全て行政任せなので、地域も応分の活動が必要ではないかとの問題意識はある。今後、活動の方向性が決まり具体的に活動する段になってどうしても資金が不足する場合、自治会等に応援を求めることもあるが、地域委員会の総会の場等できちっと決議を取る予定。今は、資金の心配はしてもらわなくても良い。

(司会) そろそろ終了の時間になった。今までの3回の議論を整理し、来年度の活動に結び付けたい。

以上